



3.18 神奈川県トラック協会への要請！

建交労神奈川県南支部は、2021年春闘の要求前進をはかる支部の統一行動を3月18日に実施しました。

新横浜駅からほど近い場所にある神奈川県トラック協会（神ト協）に集合した佐藤支部執行委員長、大島書記長、金崎書記次長、赤羽の4名は、10時から神ト協への要請を行いました。要請項目は、①「標準的な運賃の告示制度」の実効性の確保について、②「改善基準告示」の抜本的な見直しについて、③特定（産業別）最低賃金について、④高速道路料金について、⑤軽油引取税の廃止に向けた対策について、⑥新型コロナウイルスの対策など、全国トラック部会がとりくんだ国交省要請などに準じた内容です。



有安総務部次長に要請書を渡す佐藤委員長

要請の冒頭、佐藤委員長が要請書を手交して挨拶をするとともに要請趣旨について説明



神ト協の玄関前に立つ委員長等

し回答を求めました。対応した神ト協の有安総務部次長は、要請内容に対応する全ト協や神ト協の具体的なとりくみについて詳細な資料も準備して回答しました。

その後、参加した4名から神ト協の回答に対する質問や要望を含めて意見交換を行って、予定した1時間はたちまち経過しました。最後に大島書記長から4月12日に東神トラックステーションで行う恒例のトラック宣伝行動への協力を要請して行動を終えました。

関東運輸局・神奈川運輸支局への要請！

午前11時に神奈川県トラック協会への要請を終えた4人は日程調整がつかなかったために関東運輸局神奈川運輸支局に対する要請行動まで、新横浜ビルCUBICPLAZA内の電気・AI製品量販店や書店・喫茶店などで実に4時間以上を「有意義」に過ごすことになりました。その後、車検場がある神奈川運輸支局に移動した4人は午後4時からの要請行動に望みました。運輸支局から



は小泉主席運輸企画専門官をはじめ6名（佐藤委員長が主席専門官に要請）の担当官が対応しました。運輸支局にはトラック部会の要請内容の他に神奈川ダンプ支部の要請項目を加えました。運輸支局でもトラック労働者（エッセンシャルワーカー）の社会的地位の向上、労働環境の抜本的改善、「標準的な運賃」の実効確保、コロナ禍での対策強化などを求め長い1日行動を終えました。



佐藤委員長が主席専門官に要請